

1.3.2 諸外国における教育機関の現状

■ 中国

中国の美容教育システムは、美容師職業技能訓練校(以下「訓練校」)、中等職業技能学校と職業高等学校、職業学院(短期大学相当)、大学となっている。

訓練校は、現在政府に登録されているのが700校である。これは、学歴とはならず、ただ技術だけを勉強する短期トレーニングスクールである。訓練校の学習期間は、それぞれ1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年である。

中等職業技能学校と職業高等学校の修業年限は3年間である。

中学校を卒業してから入学することになる。現在、政府に正式に登録されているのは140校となる。

短期大学に相当するのは、職業学院である。「大学専科」ともいうこの職業学院の修業年限は3年間である。中国で最初に認可された職業学院は、中国の首都である北京市にある「北京財貿職業学院」で、今年で14年目になる。現在、登録されている職業学院は80校であり、卒業すると同時に準学士の資格が与えられる。

現在、中国で美容に関する勉強ができる大学は3校で、主に映画関係の特殊メイクアップとか「人物形象設計」といった学科となっている。

上述のような美容教育システムのほかに、中国の美容業には、師匠が弟子に教えるという「徒弟制度」があり、美容職業教育の約9.13%を占めている。中国首脳網「中国美容美髪業発展分析」の【美容職業教育を受ける状況】によると、店内見習い9.13%のほかに、美容学校53.92%、企業やサロン内での教育訓練34.25%、医学教育を受けた経歴者3.83%、海外留学や研修経歴者2.48%となっている。

また、中国の美容業における従業者の学歴はまだ低い。中国首脳網「中国美容美髪業発展分析」の【中国美容師美髪師の学歴調査】によると、現在、中国の美容業従事者の学歴は、小学校卒業者3.57%、中学校卒業者31.53%、高等学校卒業者31.61%、中等職業技能学校卒業者21.92%、大学専科(3年大学)卒業者7.44%、大学卒業者3.81%、大学院修了者0.13%となっている。

□ 中国の「職業学院」(3年制)における専攻の学校案内事例²⁵

²⁵ ここでは、日本の美容専門学校的位置づけに最も近い事例として、日本の美容専門学校と同様の知識や技術を学習できる職業学院(3年制)約70校の中から、典型的な専攻の学習カリキュラム等について紹介する(内容は当該学校の学校案内等を日本語に翻訳したものである)。

イメージデザイン専攻人材養成計画

一、基本規定

- 専攻の名称: イメージデザイン
- 専攻のコード番号: 670105
- 学生募集の対象: 高校卒、及びその同等学歴
- 標準学年: 3 年制
- 教育の種類: 高等職業教育
- 学歴の等級: 高専

二、養成目標と就業先

(一) 養成目標

本専攻は以下の人材を育成する。すなわち、社会主義の中核価値観を持ち、首都の経済発展ニーズに適応し、一定の企業経営と管理能力と芸術的鑑賞能力、鋭敏な芸術デザイン感性、地道な専門基礎知識、高度なイメージデザイン・トータルイメージデザイン能力を持ち、人物のトータルイメージデザイン、ステージイメージデザイン、ファッションイメージデザイン、と日常的なイメージデザインができる専門的な設計人材や、現場で上級メイクアップアーティストとヘアアーティストとして活躍する人材、及びマネジメントに従事するハイレベルの技能型専門人材である。

(二) 職業能力と就業先分析

1. 就業先

番号	職種	職務責任紹介	必要な知識・素養・技能
1	職務教育の理論・実習指導教師	人物イメージデザイン専門における美容、美髪、メイクアップ等の理論知識の教学と職務実習の指導	実践と理論の二重の知識体系を持ち、職務素養が高く、知識を実践に応用でき、説明能力が高く、先生としてふさわしい
2	映画・テレビ、フォトスタジオのメイクアップアーティスト	メイクアップアーティストとして、異なる顧客に個性的なメイクアップサービスを提供し、対応した髪型デザインを行う	メイクアップの実践的能力が高く、異なるデザイン要求に応じてメイクアップと髪型デザインができ、フォトスタジオ、映画・テレビのイメージデザインにふさわしい能力を持つ
3	イメージデザイナー	具体的な要求に応じたトータルイメージデザイン、メイクアップ、髪型デザイン、服装コーディネート	各種の実践的スキルを全面的にマスターし、コミュニケーション能力が高く、相手の総合的状況の分析とそれに合わせたデザインができる
4	現場の上級ヘアアーティスト、メイクアーティスト	顧客の特性に対応した髪型デザイン、メイクアップデザイン	極めて高い実践的能力、人間性の魅力を持ち、人とうまくコミュニケーションをとれる
5	美容顧問	スキンケア、美容、メイクアップに関する情報の提供、質問対応とアドバイス提供、売上向上のためのブランドやその他の担当商品の宣伝	高いコミュニケーション能力とサービス精神を持ち、皮膚の基礎知識、基礎メイクアップ知識、ブランドの製品特性・適用範囲・主要成分・効用を熟知している

2. 能力の構成とその全体的な要件

専門能力	社会能力	方法能力
国内外の美髪、髪型デザイン、人物イメージデザイン基礎と映画・テレビ・ステージメイクアップデザインの先端理論とスキルをマスターし、関連の職務の仕事をごこなせ、上級ヘアアーティストとメイクアップアーティストとしての理論知識とスキルを有する	コミュニケーション能力が高く、多くの方法で相手の気質、審美感覚、デザイン要求等を感じ取れる	学習と絶えず研鑽する能力
高いトータルイメージデザイン能力を持つ	善意で人と接し、コミュニケーション能力が高く、周りと和やかに付き合う	絶えず審美力、表現力とデザイン力の向上を図る能力
相応の美容院経営と管理能力を持つ	経営人材の素質、リーダーシップ能力を持ち、周りをよくまとめることができ、コミュニケーション能力が高い	絶え間ない実践と学習の能力
一定のマーケティングとコミュニケーション能力を持つ	コミュニケーション能力が高く、メンタル面の健全性がある	絶え間ない実践と学習の能力

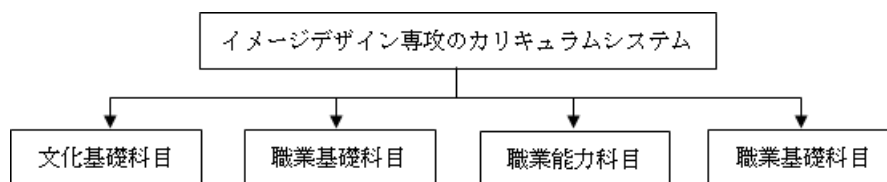
(三) 卒業基準

正式な学席もっている学生は、学院の決められた学習期間内に教育計画のすべての科目と単位を履修し、各専門の職業資格証書、英語の口語関連証書とコンピュータ等級証書を習得し、卒業デザインとその口頭試験を通過した上で卒業できる。

本専門を卒業するのに必要な取得証書

番号	証書名称	発行機関	等級	備考
1	全国コンピュータ等級試験	教育省	一級またはそれ以上	必修
2	商業素養証書	北京財貿職業学院		必修
3	英語口語証書	北京教育試験院	初級	どれか一つ
4	高等学校英語应用能力証書	教育省	B級以上	
5	美容師	北京市職業技能鑑定管理センター	上級	必修
6	美髪師	北京市職業技能鑑定管理センター	上級	
7	メイクアップアーティスト	北京市職業技能鑑定管理センター	上級	

三、カリキュラムシステム



カリキュラムシステム構図

(一) 文化基礎科目紹介 628 コマ

1. 毛沢東思想と中国特色的ある社会主義理論体系概観、64 コマ

中国共産党がマルクス主義基本原理と中国の実践と結びつける歴史プロセスを重点的に説明し、マルクス主義中国化における3大成果を強調し、学生が体系的に毛沢東思想と中国特色的ある社会主義理論を把握し、党の指導下での中国特色的ある社会主義路線という揺るぎない理想と信念を形成するようサポートする。

2. 思想道德教養と法律基礎、48 コマ

社会主義道徳教育と法制教育を行い、学生の社会主義法制観念の強化、思想道德素養の向上、成長プロセスで遭遇した実践的問題の解決をサポートする。

3. 英語口語、128 コマ

第1、2学期に開設し、それぞれ64コマとする。当科目は学生の英語のリスニング、スピーキング能力を養成し、第1学期から英語口語等級に参加させ、毎学期末の期末試験の成績は学生の身上調書に記録される。

4. 大学国語、48 コマ

学生の情操、人文精神と審美能力を培い、民俗優秀文化を継承する重要な科目。古今東西の名家の主要な文体と作品を説明することで、学生の文学素養と読書鑑賞能力を養成し、文学作品の思想内容、基本構造と芸術的特色を分析できるようにサポートする。古今語学の基礎知識と文章作成知識に対する説明を通じて、中国語運用の基本的規則の把握、学生の口頭、書面による表現能力を向上させ、後の専門技術の学生の基礎を築く。

5. コンピュータ基礎と応用技術、64 コマ

コンピュータの基礎知識、OS、Word、Excel、インターネットと常用ソフトの基礎知識と操作技術を重点的に説明し、

学生の現代的情報技術を駆使して情報・データを収集、整理、分析する能力を養成する。その結果、「操作、応用ソフト、インターネット、情報の収集と処理ができる」という基本的要求に満たすようにする。学部主導で、全国コンピュータ公共等級試験(1級)または全国コンピュータ応用技術等級試験(NIT)への参加と証書の取得をさせ、一定の訓練と試験前指導を提供する。

6. 体育、72コマ

体育の基本原則、体育保健知識、フィールドとトラック、球類、エアロビクス等の運動項目の基礎知識とテクニックを学習する。身体の練習を主要な手段とし、合理的な体育教育と科学的体育訓練を通じて、少なくとも2つのスポーツ技能を身につけ、良好な運動習慣を形成し、体質の増強、健康の促進と体育素養の向上を図り、国の大学生体育訓練基準に達する。心理素質の向上訓練は、主に屋外型の体験式訓練を手段とし、体験式教育法を通じて、学生の絶えず自我に対する探索、コミュニケーションを促す。また、チームワーク精神、剛毅な性格と社会責任感の形成を促進することで、学生が自ら生活、仕事、発展できるよう訓練する。

7. 軍事訓練と国防教育、56コマ

現代軍事戦争と国防の基礎知識を学習させ、愛国主義、集団主義、情勢政策と国防に関する教育を通じて、学生の国防意識、規律観念と自立精神を促し、良好な生活習慣と謹厳な態度の形成につながる

8. 情勢政策、20コマ

政治性、思想性、科学性、知識性と実践性を一体化した科目として、党の路線、方針と制作及び国内外政治・経済情勢に関する説明を通じて、国の改革と発展の外部環境、時代背景の正確な認識、党の基本路線、重要な方針政策の正確な理解、ホットな社会問題に対する正確な分析を促し、学生の愛国主義、民族自尊心と社会責任感を強化する。

(二) 職業基礎科目紹介 512コマ

1. デザイン素描、64コマ

素描はイメージデザイン専攻の技能基礎である。本科目は主に素描の基本要素と技能に対する説明を行う。専門特性を出発点に、物体の明暗関係の立体的表現、石膏幾何形体、幾何形体と静物の組合せ、石膏像の絵画能力を重点的に学習し、その上、人物五官の素描を主な練習内容とし、今後のメイクアップデザイン、イメージデザイン等の専門課程の学習に合わせ、デザイン技能科目の基礎を築く。

2. 化粧品の識別と選択、48コマ

化粧品ブランド、化粧品の分類と効果、常用化粧品の選択、基本成分、品質判断、製品特性、適用対象と化粧品の補完を中心に説明する。この科目は今後のメイクアップデザイン、専門美容、及び美容師総合実践などの科目の基礎である。

3. 栄養美容、48コマ

身体の健康は面部美容と身体の美容の基礎であり、栄養保健は美容イメージデザイン専攻の重点研究項目である。本科目は人体美の物質的基礎、美顔の美体の栄養デザイン、肥満の危害と分類、ダイエットレシピの作成、及び食事療法で皮膚状況の調整を中心に説明する。

4. デザイン色彩、48コマ

色彩の基本要素、属性、写生色彩の運用の特徴、混合原理、組合せ原理、物理現象、整理基礎、心理要素、物象変化等の内容を説明する。メイクアップ色彩、人物イメージデザイン科目の中の色彩運用とコーディネート基礎を築き、学生の色彩に対する認識、生活の中の色彩の発見と運用能力を高め、最終的にその知識を専門のアートデザインと創作に活かせるようにする。

5. イメージデザイン表現技法、48コマ

人物イメージデザインの概観、人体アート、イメージデザインの芸術的言語、形式美の法則とアート実践、服飾イメージデザイン、髪型デザイン、メイクアップデザイン、装飾品デザイン、イメージデザインの主題とスタイル、イメージデザイン創意企画等を説明する。手描きの表現技法で、メイクアップ、髪型、ファッションデザインを表現することで、絵画の基礎を築き、専門に対する初歩的認識を形成し、今後のイメージデザイン学習の基礎とする。

6. 美容医学実践、64 コマ

人体の基本的構造と機能、美容解剖誌式、髪型と面部特徴、五官の比例、皮膚の組織構造・類型・生理機能、皮膚健康の影響要因、年齢肌の特徴と形成要因、皮膚欠陥の特徴、形成要因と予防方法、髪の成分と形体構造、異常髪質の形成要因と予防方法、漢方美容の基本理論と方法等を説明する。

7. 服装服飾、48 コマ

イメージデザイン専攻の重要な専門科目として、服装の略史、服装デザインの分類と特徴、いくつかの主要なデザインの分析と簡単な設計作業、服装画の表現方法等を説明する。説明の内容は、本専攻イメージデザイン技能科目の内容的ニーズに合わせ、重要な補助としての役割を果たす。それと同時に、学生のデザイン能力、絵画能力を鍛え、今後の専門技能試験の基礎を築いたり、色彩、ファッションデザインに一貫性を持たせ、学生の全体的なイメージデザインの観念の形成を促したり、服装服飾を科学的に運用し、メイクアップ、髪型デザインとの整合的なコーディネート能力を養成する。

8. 専門英語、32 コマ

学生の専門語彙の増加と拡大、専門資料の読解能力、専門英語の熟練を促す。主な内容は、五官に関する専門用語、化粧品専門用語、美容師美髪師が顧客とコミュニケーションの際の言い回し、髪の性質に関する用語等がある。学生が現場でのサービスで英語でコミュニケーションを取り、サービス水準の向上と範囲の拡大ができるよう基礎を築く。

9. サロン店内業務運営、32 コマ

企業経営と管理に関する問題を取り上げる。特に、サロン経営の問題は、美容業界の人的資源、財務管理、マーケティング、企業文化とイメージ形成、職業道徳と教養、美容業界経営リスクとその管理、及び美容業の法律法規を説明する。具体的には 3 つの方面から、すなわち、ヒト、カネ、モノの管理から説明を展開する。たとえば、技術者の募集チャネル、人員配置の方法、商品の仕入れチャネル、商品リスクとその回避、美容項目の選定、美容項目の組合せ方法、プライシング方法と技法、顧客管理と顧客クレーム対応等の問題とチェーン経営管理等。また、美容美髪専門知識と組み合わせ、学生が技術、経営、マーケティングの各領域で全面的に学習することで、今後の仕事で専門知識を最大限に発揮でき、技術と管理の複合人材になるよう支援する。

10. サロンのマーケティング企画とコミュニケーションテクニック、32 コマ

美容業のマーケティング企画を主な内容とする。技術サービスと製品販売型のサロンと美容会社を分析の対象とし、美容市場のマーケティング、経営戦略と達成方法、市場調査、広告宣伝、ハイエンド顧客マーケティング、美容業のリスクマネジメント、法律法規とビジネスコミュニケーション、マナー、価格交渉、販売管理等を取り上げる。主な事例は、サロン、美容会社のマーケティング計画と販売戦略、展示会マーケティングと実践を内容とする。専門技術が強い学生にとっても弱い学生にとっても、美容美髪製品の特徴に合わせ、地域を跨ったマーケティングが非常に有力な就職方向であり、その知識を他の関連業界のマーケティングにも応用できる。

11. コンピュータイメージデザイン、48 コマ

コンピュータの応用ソフトの使い方を把握し、それを活かしたイメージデザインを学習する。写真の後期調整、化工、合成等を通じて、イメージデザインの写真等の資料の美化処理を行う技能を学ぶことで、今後のアート写真の処理、アート写真の審美力の向上に大変意義ある内容となる。

(三) 職業能力科目紹介 1408 コマ

1. 基礎メイクアップデザイン 112 コマ

本科目は、光、色彩、ラインの運用を一体化した総合イメージデザイン科目であり、頭部骨格、筋肉、素描、色彩等の基礎科目の履修が望ましい。本科目はまた、「映画・テレビメイクアップ」、「全体イメージデザイン」科目の基礎科目であり、メイクアップの概観、修飾メイク、各類型のメイクアップ構成等の内容の学習で、メイクアップのテクニックを把握し、中級メイクアップアーティストになるための基礎を築く。

2. メイクアップイメージデザイン 120 コマ

イメージデザイン専攻の重要な必修科目と専門技能科目であり、学生が「メイクアップアーティスト」職業資格を取得するための必修専門科目である。内容は、映画・テレビ・ステージメイクアップ概論、撮影メイク、テレビアートメイク、人種メイクデザイン、年齢メイクデザイン、雰囲気効果メイクデザイン、古典メイクデザイン等を含む。異なる歴史背景、地域、人物年齢、性格、身分、職業と民族特性に合わせ、素描、色彩と髪型デザイン等のデザイン技能を運用し、各種の人物イメージデザインを完成する。本科目の学習を通じて、基本技能の把握、実践能力の向上、全体イメージデザインと創造能力、及び総合応用デザイン能力を高め、上級「メイクアップアーティスト」資格認定証書の習得に良い基礎を築く。

3. 特定項目美容技術 128 コマ

美容業界の発展と人々の生活水準の絶えない向上に伴い、特定項目美容が誕生した。本科目は皮膚美容、問題肌、問題肌のケア、形体・身体美容、減量美容の各種方法、修飾美容、フレグランス美容と各種設備の使用方法などを説明する。本科目は専攻の核心科目として、今後学生が上級美容師技能証書の習得に堅実な基礎を築く役割を持っている。

4. 髪型デザインと応用 112 コマ

髪型デザインの原理、古典式髪型、現代式髪型のデザインを内容とする。顧客の異なる条件と特徴に応じて、シャンプー、カットング、ブローセット、パーマ、カラーリング、ブリーチなどを通じて美しく実用的な髪型をデザインしていく方法を説明する。

5. 美容師総合実践 96 コマ

実践教育をメインに、多学科の知識の総合的な応用を内容とする科目。学生の分析能力と実際問題の解決能力の訓練を通じて、多くの学科の知識と技能を生かした実践能力、チームワーク能力と創造能力などの向上を目指す。具体的には、ある美容院のサービス操作手順をもとに、当該美容院のサービス手順の要求に合わせたシチュエーションを想定し、学生にこのようなシチュエーションの中で、操作手順をシミュレーションさせることで美容院のサービスプロセスに対する理解を図る。また、当該美容院のそれぞれのサービスの手順に応じて事例を設置し、詳細な解説を行ってから実践的練習を取り入れ、専門理論知識の実践的運用と操作テクニックの向上を図る。

6. 美髪デザイン 120 コマ

多くの美学的原理を元にして同時に、実践能力に関する訓練も主要な内容としている。髪アクセサリーのコーディネートと制作、カツラの選択・ブリーチ・カラーリング・パーマの技能を説明する。目的は、学生の美髪デザインの技能、テクニックに対する把握と活用能力を高め、自身の教養と審美眼を養い、創造性豊かでユニークな髪型をデザインできるようになり、卒業の前に国家労働省が授与する上級美髪師資格の取得の基礎を築く。

7. ネイル技術 48 コマ

ネイル理論、応用、実践(スカルプチュアネイル、ジェルネイル、ネイルケア、ネイルアート)を内容とする。

8. 美容師職務実践 32 コマ

イメージデザインは実践能力要求の高い専門であるゆえ、本科目を開設することにより、学生が美髪知識、テクニックを実際に応用することで熟練、向上させると同時に、自分自身の教養と審美眼を養い、創造性豊かでユニークな髪型をデザインし、自分の作品の中で具体化できるようになることを目的とする。それと同時に、卒業の前に国家

労働省が授与する上級美髪師資格の取得できるよう訓練を行う。

9. エステティシャン職務実践 32コマ

職務実践のシミュレーションを通じて相応の職務技術要求に満たすように、迎え・見送り、案内、問合せ応対、指導、操作などの技能訓練を内容とする。学生が顧客の肌の類型と特徴を分析できるようになり、合理的な飲食と日常ケアプラン及び美容院専門ケアプランの計画と技能操作ができること、顧客の実際の状況に合わせて体型特徴を分析し、適切な飲食調整と運動プランをダイエット美容プランと合わせて実施できること、ネイルアート、脱毛、手部ケアなどの修飾美容の技法をマスターすること、美容の経絡とツボに関する知識とその応用、カッサなどの漢方医用法で補助的美容治療ができること、国家職業資格の等級基準を満たし、資格証書を取得できるようにすること、就業能力を高め企業のニーズに目足せるようになることを目的としている。

10. メイクアップアーティスト職務実践 32コマ

メイクアップアーティストの職務実践は、メイクアップ技能の強化と向上のための必修科目である。本科目は実践的訓練を強調すると同時に、理論知識と基礎応用と組み合わせ、学生の職務適応能力を高める。実習と実技を通じて学生の想像力とロジック分析能力を高め、学んだ専門基礎知識に対する活用、実践的操作能力を高め、職務の選定と応用の基礎を築く。

11. 実習 576コマ

学部が実習先を紹介し、実際の仕事の環境の中で専門技能の総合的実践を通じて、現実の仕事の雰囲気と職務を体験し、3年間学習した技能の応用能力を検証すると同時に専門技能とサービス能力の絶えざる改善と向上を図り、サービス業従業者に必要な職務素養と協働精神を習得させる。

(四) 商業素養科目紹介 184コマ

1. 商業素教育 120コマ

(1) 愛情教育

祖国、商業、集団、他人に対する愛を教育のテーマとし、学生の理性的認識、愛の素養的側面、それが対人・仕事・事業運営における意義に対する把握を促し、愛の気持ちを実際の行動に打ちし、身の回りの小さなことから始まり、積極的に適切な方法で他人、集団に対して愛を表現できるように訓練する。

(2) 誠実・信用 24コマ

誠実に身をもち、仕事をし、知識を学ぶのをメインのテーマとする。学生の誠実・信用に対する理性的認識を養成し、その素養的側面に対する理解、商業職務における重要性に対する認識を形成することで、学生が自覚的に誠実な精神、信用を守る習慣を形成し、是と日に対する分別能力、信用・約束を守る能力身につけるよう訓練する。

(3) 責任 24コマ

学生の責任に対する理性的認識を養成し、学生が責任の意味と意義を理解し、自分の責任を自覚する能力を身につけ、「自己に対する責任、仕事に対する責任、集団に対する責任、国家に対する責任」を背負う心理的素養と行動規範を持ち、商業職務へ適応できるように基礎を築く。

(4) 謹厳さ 24コマ

謹厳に身をもち、仕事をし、知識を学ぶことを主要なテーマとする。学生の謹厳に対する理性的認識を促し、謹厳に身をもって仕事し学習する基本的な方法の把握と態度の養成を支援する。

(5) 革新 24コマ

学生の革新に対する理性的認識、その意味、核心精神・素養の重要性に対する理解、革新的な思考方法、仕事方法に対する学習、及び革新意識と能力の向上を促す。

2. 大学生心理健康教育 32コマ

心理健康の基準、心理障害の基礎知識、心理障害の予防と健康促進の方法に関する説明を通じて、学生がいくつかの心理調整と保健の方法を把握し、心理健康と病気予防の能力を高めるようサポートする。具体的には、対人関係のテクニックの活用、強い意志品格と挫折に直面する自信の養成、学習・生活の中のストレス対応、環境・社会

適応能力の向上、情緒・感情に対するコントロール、人間関係能力とチームワーク精神の養成を中心に進めていく。

3. キャリア開発と就職指導 32コマ

職業キャリアと開発計画、就職指導の2つの部分によって構成され、学生のキャリアプラン計画と就業計画を指導する。

四、教育スケジュール

(一)教育スケジュール表(作成日:2013年3月、実施開始日:2013年9月のもの)

科目 類型	科目名	性質	評価 方法	単位	コマ数配分			学期及びコマ数配分						
					理論	実践	小計	1	2	3	4	5	6	
文化 基礎 科目	毛沢東思想と中国特色的ある社会主義理論体系概観	必修	試験	4	48	16	64		64					
	思想道徳教養と法律基礎	必修	試験	3	40	8	48	48						
	英語口語	必修	試験	8	128		128	64	64					
	大学国語	必修	試験	3	48		48	48						
	コンピュータ基礎と応用技術	必修	試験	4	32	32	64	64						
	体育	必修	試験	4.5		72	72	20	20	16	16			
	軍事訓練と国防教育	必修	試験	3.5	20	36	56	56						
	情勢政策	必修	試験	1	20		20	4	4	4	4	4	4	
	公共選択科目	選択	検査	8	128		128		32	32	64			
	文化基礎科目小計: 628 コマ				39	464	164	628	304	184	52	84	4	0
職業 基礎 科目	デザイン素描	必修	検査	4	4	60	64	64						
	化粧品の識別と選択	必修	試験	3	48	0	48	48						
	栄養美容	必修	試験	3	48	0	48	48						
	デザイン色彩	必修	検査	3	4	44	48		48					
	イメージデザイン表現技法	必修	試験	3	8	40	48		48					
	美容医学実践	必修	試験	4	40	24	64		64					
	服装服飾	必修	検査	3	18	30	48			48				
	専門英語	必修	試験	2	16	16	32				32			
	サロン店内業務運営	必修	試験	2	16	16	32				32			
	サロンのマーケティング企画とコミュニケーションテクニック	選択	試験	2	16	16	32				32			
	コンピュータイメージデザイン	必修	試験	3	30	30	48				48			
職業基礎科目小計: 512 コマ				32	236	276	512	160	160	48	144	0	0	
職業 能力 科目	基礎メイクアップデザイン	必修	試験	7	40	72	112		112					
	メイクアップイメージデザイン	必修	試験	7.5	40	80	120			120				
	特定項目美容技術	必修	試験	8	48	80	128			128				
	髪型デザインと応用	必修	試験	7	40	72	112			112				
	美容師総合実践	必修	試験	6	32	64	96				96			
	美髪デザイン	必修	試験	7.5	40	80	120				120			
	ネイル技術	必修	試験	3	24	24	48					48		
	美容師職務実践	必修	検査	2	0	32	32						32	
	エステティシャン職務実践	必修	検査	2	0	32	32						32	
	メイクアップアーティスト職務実践	必修	検査	2	0	32	32						32	
	実習	必修	検査	24	0	576	576						144 432	
	職業能力科目小計: 1408 コマ				76	264	1144	1408	0	112	360	216	288	432
商 業 素 養 科 目	商業素養教育	選択	検査	7.5	60	60	120	24	24	24	24	24		
	大学生心理健康教育	必修	検査	2	32		32	32						
	キャリア開発と就職指導	必修	検査	2	32		32				16	16		
商業素養科目小計: 184 コマ				11.5	124	60	184	56	24	24	40	40	0	
合計				158.5	1088	1644	2732	520	480	484	484	332	432	

(二)コマ数配分表

番号	科目類型	コマ数			百分比
		理論	実践	小計	
1	文化基礎科目	464	164	628	23%
2	職業基礎科目	236	276	512	19%
3	職業能力科目	264	1144	1408	52%
4	商業素養科目	124	60	184	6%
合計	コマ数	1088	1644	2732	100%
	百分比	40%	60%	100%	